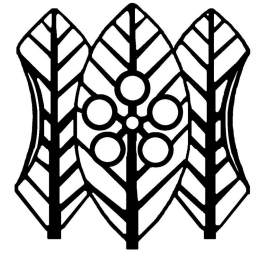


朝晩はだいぶ冷え込むようになりました。1年生は大学模擬授業があり、今後の文理選択をしっかりと考える大切な時期でもあります。2年生は模擬試験もいよいよ5教科になり、進路室には昨年の問題をもらいに来る生徒も見られるようになりました。受験がだんだん近づいていることを実感してもらいたと思います。3年生はいよいよセンター試験まで80日を切りました。昨年の国公立現役合格者100名を良き伝統として引き継いでいきましょう。



1. 文理選択について(1年生)

大学から考えるか、職業から考えるか

文理選択とはただ、文系か理系かを決めるだけが目的ではありません。自分が将来どんな職業につきたいか、大学で何を学びたいのかといったことを考え、自分の進路を方向付ける、いわば夢の第一歩を踏み出すことなのです。選択に当たっては、教科の得意・不得意だけでなく、将来の夢や自分の適性などを十分に考えて選択することが大切です。

文理を決定するには大きく分けて二つの方法があります。一つは、将来自分のなりたい職業から考える方法、もう一つは興味・関心のある学問、学びたい学問から決める方法です。自ら積極的に調べてみたり、先生や家族にも相談してみましょう。もうすでに決まっているという人も、いろいろな学問や職業について調べてみると、意外な発見があるかもしれません。文理選択という機会を利用して、自分の将来についてじっくり考えてみましょう。

選択にあたってのポイント

1 自分を見つめなおす

自分自身の性格（長所・短所）、興味・関心、価値観、得意教科などから、「どんな職業に向いているのか」自分の適性をじっくり考え、その能力を最大限に生かせるものを探しましょう。自分のやりがいや生きがいを見出せるものは何か、じっくり考えてみるのが大切です。その際、数学が嫌いだから、国語が苦手だからといったマイナス思考で選ばないことも大切です。

2 大学について調べてみる

大学の種類・内容・特徴・学風・学部学科の特色・研究内容をよく調べてみましょう。その他に、奨学金制度の有無、大学卒業後の進路情報、大学の学部学科から見た就職分野などを調べてみるとよいでしょう。大学案内を取り寄せたり、学校の図書室・進路指導室などに置いている資料（各大学の学校案内や進路情報誌など）やインターネットのホームページを見る方法があります。また、多くの大学では毎年夏頃にオープンキャンパスというものが開催されますので、見学に出かけてみるのも一つの方法です。

3 職業について調べてみる

自分の興味と合わせて、世の中にどんな職業があるのか調べてみましょう。今まで知らなかったけれど、調べてみると興味を持てたり自分の可能性を見出せる職業が見つかるかもしれません。図書室や進路指導室にある本や進路情報誌などの資料を調べてみましょう。また、いろいろな分野の本や新聞も意識して読んでみると新たな発見があることも。調べるときには、その仕事内容だけでなく、その職業の社会的貢献度、存在意義、将来性、必要とされる能力または技術、資格などについても調べてみるとよいでしょう。取得資格の一覧は各教室にある「蛍雪時代4月号」などに掲載されています。

4 身近な人に相談してみる

家族や先生に相談し、意見を聞いてみましょう。家族の考えや期待、それぞれの家庭の事情等も合わせて考えてみるのが大切です。また、家族や先生は、身近にいる社会の先輩です。どのように今の職業を選んだのか、具体的な仕事内容などについてじっくり聞いてみるのも参考になるでしょう。

2. 明確な進路目標を持とう。大学だけでなく、学部学科までの絞り込みを(2年生)

夏休みが終わり、高校生活も後半戦に入りました。学校行事や部活動の中心となり、何かと忙しくはなると思います。2年生にとっては、これからの学習は入試を左右する重要な意味を持っています。3年生はセンター試験の出願が終わり、大学入試センターからの確認はがきが届き、センター試験まであと79日(10月26日現在)になりました。君たち2年生にとってもそんなに先のことはありませんので、受験モードにどれだけ早く切り替えができるかが重要です。

1. 将来の希望・学びたい学問の決定が成績UPへの鍵

成績を2年生後半から上昇させた人達の多くは、この時期すでに明確な進路決定ができていました。具体的な目標を持つことによって、その実現のために何をやったらよいかわかってきたと言えるでしょう。海図のない船旅ではあてもなく航海するのではなく、海図と羅針盤を持ち、目的地への最短距離を通れるようにするのが大切です。

2. 学習習慣を見直す時期

受験を前にした3年生にこんな質問を受けることがあります。「先生、英語は何をやったらいいんですか」。この答はひとつではありません。何をやるかは、何ができないのかによって変わってくるからです。ところが今まで自分できちんとした学習をしていないと、何が問題なのか自分で分析できないのです。「学問に王道なし」と言われるように、万人に向けた勉強方法などというはありません。先生に言われた方法を基準に、後は自分に今欠けているのは何かを分析し、自分なりにアレンジした勉強方法を見いだしていくことです。それができるようにするには、まずはきちんとした学習の習慣を身につけ、平日3時間・休日4時間の学習時間を確保するようにしましょう。

3. 学習とタイムラグ

英語などの教科は1週間一生懸命勉強したからと言って、急に成績が上がる教科ではありません。本当の効果が現れるのは数ヶ月先になることが普通です。まずは、着実に続けること。「継続は力なり」です。

4. テスト結果に一喜一憂しない

模擬試験の結果では合否判定がつき、判定や偏差値が気になる気持ちはよくわかります。しかし、今最も大切なことは模試や定期テストの復習をし、同じ間違いを繰り返さないようにすることです。一回だけのテストの出来不出来を気にするよりも、次につながる復習こそが将来の実力につながっていきます。

参考になる website

- 1 ベネッセマナビジョン：<http://manabi.benesse.ne.jp/op/>
- 2 リクルート進学ネット：<http://shingakunet.com/cgi-bin/shingaku.cgi>
どちらも職業検索・学部学科検索などができます
- 3 河合塾大学入試情報サイト：<http://www.keinet.ne.jp>